

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



緑小だより

令和7年7月11日(金)発行 NO.12

留萌市立緑丘小学校



プール学習の日程の変更について

前号にてお知らせした水泳学習の予定につきまして、3回目の日程が次のとおり変更になりました。

1・2年生：9月 日() 午前

3・4年生：9月 日() 午後

5・6年生：9月 日() 午後

どうぞよろしくお願いいたします。(担当：)

7月に入り、水泳学習が始まりました。私もここまで2回の学習に参加しました。元気いっぱいの様子でプールに入り、水遊びをしたり、長い距離を泳ごうと頑張ったりする姿が見られ、一緒に体を動かす楽しさを感じています。今年度、子どもたちがこれまで以上に水泳に親しみ、上手になれる機会をつくりたいと思い、カリキュラムを変更し、学習の回数を1回増やしました。ご意見やご感想等ありましたらお声がけください。

一年生

6月30日(月)にもい EC タイムがありました。札幌にある田中学園から松浦先生が来校し、英語の学習をしました。英語で自己紹介をしたり、体でアルファベットを使って表現しながらダンスをしたり、楽しく学習することができました。「聞こえたまま言ってごらん」と言われ、みんな英語の発音をよく聞き、元気に言うことができました!7月2日(水)と7日(月)にぶるもへ水泳学習に行きました。暑い日だったので、プールで気持ちよく過ごすことができました。1年生のテーマは「水と仲良くなろう」です。水の中でぐるぐる回ったり、歩いたり、たくさん遊びながら、水と仲良くなっていけます。準備や着替えもてきぱきとできる1年生にとっても感心しました。(文責：)



二年生

4日(金)、無事に遠足を実施することができました。ご家庭での準備やご協力、ありがとうございました。蒸し暑さの中でしたが、子どもたちは約3kmの道のりを友達と声を掛け合いながら、協力して歩き通すことができました。コープさっぽろでの買い物体験では、「300円以内でおつりを少なく買う」というミッションに挑戦しました。電卓を使って計算したり、品物をじっくり選んだりしながら、目的を意識して買い物を進める姿が印象的でした。みんなで遊ぶ時間に行ったレクリエーションでは、自分たちで企画・準備した遊びをみんなで楽しみ、笑顔あふれる時間を過ごすことができました。一人一人が役割を果たし、友達と協力しながら主体的に動く姿に、大きな成長を感じました。これで1学期の大きな行事がひとつ終わりです。子どもたちが今回の経験をしっかりと振り返り、自分の成長を実感できるよう、今後の学習につなげていきたいと思っています。(文責：)



三年生

先週と今週で2回のプール授業が行われました。子どもたちはそれぞれ挑戦が必要なポイントに応じて、しっかり水慣れをしたり、体を浮かせる練習をしたり、クロールの練習をしたり、何度も練習を繰り返していました。得意な子を中心に、プールの深いところでも学習を進めています。コツをつかんだ子は「次は何やるの?」と満面の笑顔。途中休憩を挟もうとすると、「練習してもいい?」と、やる気満々。充実した時間を過ごすことができたようでした。…とは言え、「水泳」は多少の練習ではなかなか上達できないもの。今年度は3回目のプール学習もあります。ぜひ、夏休み中もたくさんプールに遊びに行き、少しでも練習してくれたらと思っています。3年生のみんなの上達を楽しみにしています。(文責：)



四年生

子どもたちが待ちに待った水泳学習が始まり、3年生と一緒に「ぶるも」に2回行ってきました。今年度からプール学習が3回になり、子どもたちも大喜びです。取り組む前は、水に顔を付けられない子は不安の声をもらしていましたが、終わってみれば、みんな「また、行きたい!」と満足気な様子でした。今の暑さにピッタリの学習です。あと1回ありますが、少しでも上達できるように楽しみながら頑張ってもらいます。また、図工で描いた校内作品展の絵は、教科書にある「わすれられない気持ち」の単元の絵画を出展することにしました。これまでの生活の中で忘れられない思い出を、子どもたちそれぞれが絵に表しました。「へえ〜!」「そんなことがあったの?」と、この取組をきっかけに子どもたちの一番の思い出も聞くことができ、楽しい取組になりました。子どもたちの渾身の作品をご覧ください。(文責：)



五年生

現在、家庭科では裁縫の学習を行っています。初めて糸に触れる子もいて、腕の長さ(約50cm)で切ることも大苦戦。針に糸を通し、玉結びだけで1時間目が終了。2時間目は、並縫いと玉留め。3時間目は返し縫いと、徐々にレベルアップする内容にもめげることなく、針を手に布と悪戦苦闘しながらも一生懸命に取り組みました。途中で糸が絡まり始めからやり直す子や玉留めが上手くいかず友達に教えてもらいながら頑張る子、思うように縫えずイライラしてしまう子など様々でしたが、上手になった時の「お~できた!」「だんだん上手になってきた!」「楽しい!」と喜ぶ姿に、子どもたちの粘り強さや可能性を感じうれしい気持ちになりました。さて、夏休みまで7日間。来週は参観日やお祭りもあります。体調に気を付けて1学期を元気に楽しく過ごしてほしいと思います。(文責：)



六年生

7月3日~4日、修学旅行に行ってきました。途中、ちょっと雨にも降られてしまいましたが、大きなけがなどなく、27名全員無事にたくさんの思い出を作ってくることができました。保護者の皆様には、旅行の準備や朝の見送り、お出迎えなどご協力いただきありがとうございました。ホテルのプールも地下鉄も朝食バイキングもロイズも、プラネタリウムも、バスレクも貴重な経験をすることができました!(文責：)



とくし

4年楓組です。緑っ子タイムでは、参観日の発表に向けて視覚障害についてまとめています。それぞれにテーマを決めて、さらに詳しく知りたいことについてインターネットなどを活用して調べています。盲導犬に実際に会った経験を生かし、見たり聞いたりしたことをまとめたり、点字について様々な種類の点字ブロックを見つけたり、イラストや写真を使い、分かりやすくまとめられるように努力しているところです。上手にまとめることができてきたので、今週は実際に発表できるように話し方の練習を行っています。個人での発表になるので、いつもよりも緊張すると思いますが、一生懸命練習していますので、参観日はぜひご来校いただきがんばりを見てもらえればと思います♪

5年柏組です。先月末に自立活動と日々の頑張りの労いを兼ねて白玉作りに挑戦しました。自分たちで図書室からレシピを見つけ、夏にあったデザートとして選びました。転校する友達にも食べてほしいとのことで、急いで準備をし、取り組みました。本の分量どおりにこねてみましたが、なかなか上手く固まらず、水や粉の量を試行錯誤しながら進めていくことになりました。クラスみんなの分を作るためにたくさん練ってはこねての大忙しでした。家庭科で習ったガスコンロの使い方もバッチリで、水を沸騰させて白玉を茹でます。少し固めにはなってしまいましたが、クラスみんなにも喜んでもらい大成功となりました。柏の二人は「給食センターの人はすごいね」と改めて作ることに大変さや楽しさを味わったようです。

6年柏です。先週、修学旅行に行ってきました。しおりづくりや挨拶、レクリエーション係など、自分の役割をしっかりと果たすために、みんなと協力して準備に取り組んできました。また、行き先やルートを頭に入れて、入念に準備をして自主研修にも臨みました。工場見学や青少年科学館では、様々な体験を通して多くのことを学ぶことができました。二人にとって、素敵な思い出になったと思います。事前の準備や見送り・お迎えなど、ご協力いただきありがとうございました。今週は合同学習会もあるので、修学旅行で身に付けた力を存分に発揮してほしいと思います。



つたえるかって、なんだろう？ ～ネットでのやりとりを考える～

➤ こんなとき、あなたならどうする？

SNSで友だちが誤った情報を投稿していました。
あなたはコメント欄に何か書いて友だちに伝えますか？
それとも何も言わないでおきますか？

例1 「それ、まちがってるよ」

例2 「ちょっと気になったんだけど、これって本当？」



同じことを伝えようとしても、つかう言葉によって相手の受け取り方は大きく変わります。
もし、自分が例1や例2のような言葉を言われたらどんな気持ちになるか、想像してみましょう。

➤ 伝えるときに大切な3つのポイント

インターネットの中では文字だけで気持ちを伝えなくてはいけないときがあります。
あなたが思っていることを正しく伝えるために、3つのポイントに気を付けてみてください。

① 言葉の選び方

相手にちゃんと伝わる言葉か、きつい言い方になっていないかを投稿する前に
見直してみましょう。

例えば「それ、まちがってるよ」は「〇〇という考え方もあるよ」と
言い換えることもできます。

② 相手の立場に立つこと

相手に言葉を伝える前に言葉を受け取る相手の気持ちを想像してみましょう。
また、自分が言われたらどう感じるかを考えてみるのも効果的です。

③ 伝える目的を考える

何を伝えようとしているのかをよく考えてから伝えましょう。
よりよくするための言葉が責める言葉になってしまっていないですか？

インターネットでも現実でも、言葉は人と人をつなぐ大切な手段です。
何をどう伝えるかで、相手を励ますこともできれば、傷つけてしまうこともあります。
だからこそ、自分の言葉に責任をもって大切に使っていきましょう。

デジタルシティズンシップ教育とは？

「デジタルシティズンシップ」とは、インターネットやデジタル技術を通じて、社会とつながり、責任ある行動をとりながら積極的に参加することです。



情報モラル教育とデジタルシティズンシップ教育

これまでの「情報モラル教育」では、インターネットの危険性やマナーについて学び、トラブルを未然に防ぐための知識やルールの習得が重視されてきました。主に「危険を回避し、安全に使う力」を育てることが目的です。

一方で「デジタルシティズンシップ教育」では、こうした基礎に加えて、インターネットを通じて社会とつながり、責任ある行動をとる力を育てることを目指します。正しく使うだけでなく、より良く活用する視点を持ち、他者との関わりの中で思いやりや協力の姿勢を育みます。子どもたちが安心して主体的にデジタル社会に参加できるようになることが、大きな目標となります。

デジタルシティズンシップで育てたい力

① 情報を見極める力

インターネットには正確な情報だけでなく、誤情報や意図的に操作された情報があります。
情報の信頼性を判断し、必要に応じて様々な視点を意識して調べ直す力が求められます。

② 協働する力

インターネット上では、異なる立場の人と意見を交わしながら協力する場面があります。
価値観の違いを尊重し、共通の目的に向かって協力する姿勢が大切です。

③ 発信する力

自分の考えや気持ちを適切な方法で発信する力が大切です。インターネット上で何かを発信する際には、言葉の選び方や相手への配慮、発信の影響などを考える力が求められます。

④ 参加意識

インターネット上の出来事を「自分には関係ない」と捉えるのではなく、社会の一員として積極的に関わっていくことが求められます。その際には、ルールやマナーを守り、他者への配慮を忘れずに行動することが大切です。

家庭での指導

家庭でもインターネットの使い方について子どもと話すことが大切です。
どんな情報を見ているか、どんな気持ちで発信しているかなど、日常の会話の中で自然に話題にしてみましょう。使い方を一方的に制限するのではなく、子どもが自分で考えて行動できるよう見守ってあげることが大切です。ルールやマナーを守るだけでなく、相手の気持ちを考えたり、社会の一員として関わる意識を持てるように声をかけてください。

